

国語 (A1日程)

(解答はすべて解答用紙に記入しなさい)

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(問題の都合上、一部省略した部分があります。)

図書館の活用法を知ることには、どんなテーマを探究する場合でも、そのテーマを基礎から体系的に理解することに通じます。つまり「学びの王道」と言えます。

そうは言っても、現在はネット時代です。「えっ？ 図書館で学ぶなんて、今どき古くない？ かえって遠回りじゃない？」と思う人がいたとしても、無理はありません。やはり「図書館は、本が並んでいるだけの場所」「本を借り、そして返す場所」という固定観念が、多くの人の中に強くあります。

A、図書館の持つ資料や情報は、本だけではありません。本以外で何があったか、思い出してみてください。たとえば、新聞が並んでいるのを見たことはありませんか？ 大きな図書館になると、新聞一つとっても多種多様なものがあります。読売、朝日、毎日、日経などの全国紙のみならず、北は、北海道新聞から、南は沖縄タイムスや琉球新報などの地元紙(地方紙)、日刊工業新聞などの業界紙、The New York Times など海外の新聞、小学生や中高生向けに各年代の興味関心にあわせて分かりやすく書かれた新聞などもあるのです。

しかも、主要な新聞は過去の記事がデータベース化されており、キーワード一つで検索できます。タイムマシンに乗ったように100年以上前まで紙面上をさかのぼれるため、読みたいと思ったら、たとえば今、中学・高校生のみならず自分や家族が生まれた日の新聞も探すことができます。

こうした情報は、図書館がデータベースの提供元と契約し、利用料を支払って収集しています。ですから、契約をしていない個人がスマホなどでこのデータベースを使うことはできません。

また図書館は、町の書店には並ばないほどミニマムだったり、個人では所有しにくいほど高額な図鑑や専門雑誌も所有しています。このように図書館には「本来ならばお金を払わないと手に入らない情報」が多くあり、しかも使い放題なのです。このことから、図書館を味方につける有利さが分かるはずです。多くの情報が無料で手に入るネット時代だからこそ、「責任」という付加価値のある情報には、その対価が必要(有料)である」という大原則を、まずは B に銘じてください。

もちろん本だけに限っても、フィクション(物語や小説)から、人体や動物、地球や宇宙、音楽や美術、スポーツ、さらにはマンガやアニメなどの「教科書に載っていない分野」にいたるジャンルについても、入門書から専門書まで幅広く手に入ります。

では次に、1冊の本からいかに学びを広げていくか、例を挙げて見ていきましょう。

ここでは、本を使って「世間ではこういうわれている」という通説について調べることから、どう学びが広がるかを説明していきます。

「人類が作った建造物で唯一、万里の長城だけは月（あるいは宇宙）から見える」という話を聞いたことはありますか？ ユネスコの世界遺産（文化遺産）でもある万里の長城は、全長2万1000キロメートルにもわたる建造物、と中国・国家文物局は表しています。これは、地球のほぼ半周分の長さです。とてつもない大きさなので、見ると言われれば信じてしまいそうですが、はたして本当でしょうか？ 私もだんだん疑わしく感じられてきたので、本腰を入れて調べてみようと思ったのですが、調査開始早々、図書館の蔵書検索システムに「万里の長城」と「月」という2つのキーワードを入れただけで、「万里の長城は月から見えるの？」（武田雅哉著、講談社）という本を見つけてしまいました。

この本の中で、著者は「見えません」という結論を冒頭で示します。そして膨大な資料から、いかにしてこの通説が生まれてやがて伝え広まり、中国の教科書に載るまでに浸透し、その後誤りだと判明していったのかを論理立てて整理し、時代背景や国際社会の情勢もふまえて丹念に検証しています。その理路整然とした真相の追い求め方に、知的スリルまでも感じてしまいました。

検証の材料となる情報は、根気さえあれば誰にでも集められるように思えますが、全258ページのうち約1割を占める巻末の参考文献を見ると、英語に加えて中国語の文献も多く含まれていました。著者の武田雅哉さんは北海道大学の教授で、中国文化・文学を研究しています。

C 私が、同じテーマについて全力で情報収集しても、そもそも中国語が読めず、中国という国の社会背景についての専門知識もないため、ここまで情報を集めるのは不可能だったでしょう。

3

や、専門家としての知識

が、深い論考を可能にしたのです。

つまり私たちは1冊の本を読むことで、自力では困難な情報の収集・調査と整理・検証の成果を知ることができるのです。いわばテーマに精通したプロフェッショナルを、数千円（図書館の本ならば無料）で雇ったも同然なのです。さらに、著者はあくまでも自発的な探究心を原動力として挑んでいるため、より検証の到達度が高まります。

あるテーマについての全体像を知るには、ネットの情報は不確かで、かつ断片的なので、自力で取捨選択して体系化（分かりやすく全体をまとめること）する必要があるですが、本ならばすでに著者がその膨大な作業を済ませたうえで、新たな知見を加えて

います。

私たちは、現代の専門家から古代の哲学者にいたるあらゆる分野の達人たちの叡智を、本から借りることができるのです。そのような学び方は「巨人の肩の上に立つ」と喩えられます。

巨人は、「なみはずれて身体の大きな人」という意味と「品性・才学の偉大な人」という意味があります（『広辞苑』岩波書店）。読者は、著者が考え抜いてきた成果を、本を通じて教えてもらうことで、「知の巨人」の肩に乗り、遥か遠くまで見渡せるようになるのです。

正直に言いますと、私自身も「万里の長城は月から見える」という通説を、調べてみるまではすっかり信じ込んでいました。何かの機会に疑問を抱いても、武田先生のご本のレベルまで明快に通説を覆すことはできなかったでしょう。

本を読むことで、また読み方を工夫することで、そこに書かれているテーマ以外にも、学べる要素はたくさんあります。たとえば「自分がこのテーマで書くならば、どんな本にするか」という視点で読むとします。とうぜん「どんな材料を集め、どのように料理（検証）し、論理を展開するか」「どんな言葉を選んで、どの順番で伝えるか」「どんな例を使って、説明を分かりやすくするか」といったことを考えるようになるでしょう。すると著者の視点や戦略を客観的に読みとることができるようになります。

また伝え方の工夫によって、分かりやすくもなれば、その逆もあることが分かります。このように、読み方を意識すれば、単に知識の吸収を目的とした読書では得られなかった、ものの見方、とらえ方、考え方、伝え方など、いろいろな力を鍛えることができるようになるのです。

読書のさいには、「その本から何を学び取るか」、複数の目的や成果をいつも意識しましょう。もちろん最初から上手にできなくてかまいません。けれど人とは違う、自分ならではの読み方になればなるほど、1冊の本から得られるものは多くなり、得をすることになります。せっかく武田先生の本に出会ったのに「万里の長城は、月からは見えない」という結論だけを受け取るのは、ネット検索して得た情報（それが幸運にも正しければですが……）で満足するのとそれほど変わりません。ましてや、読解力や伝達力を鍛えることはできません。「月から見えるかどうか」を知りたいだけならば、武田先生のご本の場合、なんと表紙（カバー）の折り返し部分に結論が書いてありますので、ページをめくる必要すらありません。つまり、本をどのように「使う」かは、自分しだいなのです。

問一 〰〰線 a 「建造物」は「建造+物」という組み立てになっています。これと同じ組み立ての三字熟語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 初対面 イ 交通量 ウ 過保護 エ 未完成 オ 和洋中

問二 〰〰線 B に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア AⅡやはり CⅡまるで
イ AⅡなぜなら CⅡつまり
ウ AⅡだから CⅡほとんど
エ AⅡしかし CⅡかりに
オ AⅡたとえば CⅡまったく

問三 〰〰線 B に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 肝^{かん} イ 腸 ウ 脳 エ 胸 オ 腰^{こし}

問四 〰〰線 1 「多種多様なもの」とありますが、大きな図書館に並んでいる新聞として適当でないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 全国規模で発刊されている新聞
イ 小学生や中高生向けの新聞
ウ 海外で発刊されている新聞
エ 個人が趣味で作った手作り新聞
オ 特定の業界について書かれた新聞

問五 〰〰線 2 「このこと」の指す内容を「　　であること。」に続く形で本文中から四十一文字で抜き出し、最初と最後の五文字をそれぞれ答えなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問六 〰〰線 3 に入る語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 読解力 イ 推理力 ウ 交渉力^{こうしょう} エ 忍耐力^{にんたう} オ 語学力

問七 〰〰線 4 「巨人の肩の上に立つ」とはどういうことですか。四十五字以内で説明しなさい。

問八 本文の内容と合致するものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 図書館では、高額な図鑑や専門雑誌以外であれば、あらゆるジャンルの本を手に入れることができる。
イ 現代はインターネットの時代なので、根気よく取り組めば誰でも十分な情報を集めることができる。
ウ 本の読み方を工夫することで、知識を吸収するだけでなく、読解力や伝達力も鍛えることができる。
エ 初めの部分に結論が書かれていることが多いので、本を読むときは前半を重点的に読んだ方がよい。
オ 図書館にある本を読めば、「世間ではこういわれている」という通説をたくさん知ることができる。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「あら、いらつしやい」

衣南ちゃんのお母さんが玄関で出迎えてくれた。今日はライムみたいな黄緑色のヒジャブ姿だ。

「気を使わなくていいのに。お母さんにありがとって伝えてね」

結局、うちから持参したおみやげは瓶の夏みかんジュース。果汁百パーセントならきつと大丈夫よね、とママは言っていた。

「こっち来て」

衣南ちゃんがわたしたちを手招いた。

「ここがママとあたしの部屋。ヒジャブはここ」

タンスの引き出しを開けると、きれいにたたまれた布が並んでいた。とてもカラフルで、見ているだけで気分が上がってくる。

「すこーいっ」

「きれいだね」

「インドネシアに行ったときに、ママや従姉妹たちとショッピングして選んだ。ちなみにインドネシアのユニクロにもヒジャブがあるんだよ」

「えっ、ユニクロで売ってるの？」

ヒジャブってそんな手軽に買えるんだ。インドネシアでは、日本とはちがう日常があるんだな。

それってちょっとおもしろいかも。

「ここに座って。一人ずつ巻いてあげる」

衣南ちゃんがドレッサーの椅子をすすめた。大きな鏡にスマホを立てかけて、動画を見ながら衣南ちゃんはわたしたちにヒジャブをかぶせてくれた。

「ねえねえ、こういう巻き方もかわいくない？」

英は赤いヒジャブを細長く折ってカチューシャのように着けた。

「それもかわいい。『魔女の宅急便』のキキみたい」

20

そう言っただけでも、衣南ちゃんの長い髪、すごくキレイなのに、全部隠しちゃうのもつたいない気もするな」

「あ、ちょっと待って」

衣南ちゃんは **A** を横に振った。

「髪は全部隠さないとダメなの」

「全部？」

衣南ちゃんはずうなずう。

「そうなんだ。でも、衣南ちゃんの長い髪、すごくキレイなのに、全部隠しちゃうのもつたいない気もするな」

わたしが説明会のときに思ったのと同じようなことを英が言った。

「だからだよ」

衣南ちゃんは、 **B** した口調で言った。

「ヒジャブをかぶる理由はね、『美しい部分は覆いなさい』ってイスラム教の決まりがあるからなんだよ」

「美しい部分？」

「うん。キレイだからこそ、大事に覆っておくんだ。髪だけじゃなくて、腕や足も覆うのがムスリムファッションなんだよ」

衣南ちゃんがクローゼットを開けると、長袖のワンピースやロングスカートがたくさん入っていた。

そのなかの一着のハンガーを衣南ちゃんは外した。

「この服、袖のラインストーンがキラキラしてかわいいでしょ。これはよそ行きなんだ。レバランのお祭りのときとか着るよ」

「ればらん？」

「断食明けのこと。日本でもイスラム寺院でお祭りがあるんだよ」

あ、そうか。

その笑顔を見て、わたしは気づく。

衣南ちゃんはきつと、髪を隠すのを「もつたいない」なんて思っていないんだ。

衣南ちゃんは我慢して髪を隠すわけじゃない。

40

35

30

25

信じるものがあって、なおかつ自分らしくおしゃれもしたいんじゃないかな。
ああ、ごめん。

² わたしは心のなかで衣南ちゃんに謝った。

学校説明会の帰りに、髪を隠すことを「かわいいそう」なんて思ってしまった。
全然そんなことないって分かったよ。

「友達にヒジャブ着けてあげるなんて初めてだよ。だからっていうわけじゃないけど、二人に、あたしの秘密おしえてあげる」
衣南ちゃんが声を潜めた。

「秘密？」

「え、なにになに？」

秘密といえば……もしかして恋バナ？

英とわたしは **C** をピンと立てた。

「あたし、将来ムスリムファッションのデザイナーになりたいんだ」

「ムスリムファッションのデザイナー？」

こくつと衣南ちゃんはうなずいた。

「日南田女子って、大学に服飾^{せつしやく}学科があるんだ。そこに進学しておしゃれなヒジャブや服をデザインして、世界中のいろんな女の子に着てもらいたい。英ちゃんたちみたいにムスリムじゃない子にもね」

そう話す衣南ちゃんの **D** はキラキラしていた。

「衣南ちゃん、それめっちゃカッコいいじゃん」

そう言った英は、興奮気味に「いいじゃん、いいじゃん」と繰り返す。

一方で、わたしの口からは、ほわあつと声もれた。

「そっか、だから日南田女子なのかあ……」

衣南ちゃん、すごいな。日南田女子に行きたい理由は制服だけじゃなかったんだ。

わたしと同じ六年生なのに、こんなちゃんと目標を持つてるなんて。

衣南ちゃんのお母さんにも、三人でヒジャブを着けた姿を見てもらった。

衣南ちゃんは、赤い花柄。

英は青と白のストライプ。

わたしは無地の桃色だ。

「あら、三人ともかわいいねー」

衣南ちゃんのお母さんはそう言ってくれたけれど、わたしには心配なことがあった。

「あの、わたしたちがこんな格好して、いやだって思わないですか？ イスラム教徒じゃなくせに、って……」

衣南ちゃんのお母さんは一瞬 **E** して、「全然」と笑った。

「イスラムに興味持ってもらえるのは、うれしいもの。それに、かわいいものを身に着けたいって女子の気持ちは、世界共通だもんね」

世界共通、かあ。

言葉も通じない遠い国の子ども、同じ気持ちになれるんだ。

「ねえ、三人で写真撮ろっ。衣南ちゃんのお母さん、これで撮ってくださいますか？」

英のスマホで、わたしたちは並んで写真を撮ってもらった。

^注 「チャンティツ。みんないい感じ」

衣南ちゃんのお母さんが指でOKサインをした。

(出典 こまつあやこ「フレノレかるた 二人でつくる卒業制作」毎日新聞出版による)

注 チャンティ——インドネシア語で「かわいい」の意。

問一

A・C・Dに入る体の部位として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 目 イ 首 ウ 口 エ 指 オ 鼻 カ 耳

問二

B・Eに入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- A BⅡさっぱりと EⅡきよろりと
- イ BⅡすっぱりと EⅡにやりと
- ウ BⅡきっぱりと EⅡきよとんと
- エ BⅡあつさりと EⅡびくつと
- オ BⅡしっかりと EⅡむすつと

問三

線 a「声を潜めた」と同じように次の□に漢字を一字ずつ書き入れて、「声」をふくむ慣用句を完成させなさい。

- ⑦ 声を□とす(意味：声を急に低くして小声で言う)
- ⑧ 声を□にする(意味：強く主張する)

問四

線1「それ」とありますが、どういうことですか。「〜ということ。」に続くように、本文中から二十一字で抜き出し、最初と最後の五字をそれぞれ答えなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問五

線2「わたしは心のなかで衣南ちゃんに謝った」とありますが、なぜですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 衣南が本当は髪の毛を隠したくないのに隠していると知り、気の毒に思ったから。
- イ 衣南が髪を隠すのをかわいそうだと思ってしまったことを申し訳なく感じたから。
- ウ 衣南の気持ちを知らながら、自分だけ髪の毛を見せているのが気まずくなったから。
- エ 衣南が持つイスラムの習慣を受け入れられず、苦しくてしかたがなかったから。
- オ 衣南のおしゃれをしたい気持ちをすぐに理解できなかったことを反省したから。

問六

線3「ほわあつと声もれた」とありますが、なぜですか。六十字以内で具体的に説明しなさい。

問七

線4「心配なこと」とありますが、「わたし」が心配しているのはどういうことですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア せっかく仲良くなった衣南が、もうすぐインドネシアに行ってしまうのではないかとということ。
- イ 衣南が大切にしているヒジャブを自分の不注意で汚してしまうのではないかとということ。
- ウ ファッションだけをまねしてイスラム教を知った気になるのは、よくないのではないかとということ。
- エ イスラム教徒以外の人がヒジャブを着けたら、イスラム教徒は嫌な気分になるのではないかとということ。
- オ 自分がヒジャブを着けたところで、他の二人とは違って似合わないのではないかとということ。

問八

本文の内容として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 「わたし」はヒジャブを通して言葉の通じない人とも同じ気持ちになれることを知った。
- イ 「わたし」は衣南の話聞いて、自分も衣南と同じ日南田女子を目指すことを決心した。
- ウ 衣南はカチューシャのようにヒジャブを巻いた「わたし」の姿をかわいいとほめた。
- エ 衣南はヒジャブを巻くのに慣れているので、何も見ずに「わたし」たちに着けてくれた。
- オ 衣南のお母さんはヒジャブを通して「わたし」と英に衣南を理解してほしいと話した。

三 次の各問いに答えなさい。

問一 次の――線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 朝顔のメが出ました。
- ② ジドウ会の会長になった。
- ③ モニターに資料をウツす。
- ④ ヤマナシ県から富士山が見える。
- ⑤ 今年の夏はイジヨウな暑さだった。

問二 次の――線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 胃や腸の動きが活発になる。
- ② ケーキを均等に分ける。
- ③ 議長を解任された。
- ④ 公衆電話の数が大幅に減少した。
- ⑤ 浄土真宗の宗祖はだれですか。

